

アジア政経学会 2005年度第3回理事会 議事録

1. 日時 2005年9月10日(土) 15:00~17:00
2. 会場 霞山会館 9階 さつきの間
3. 常務理事総数 24名
4. 出席者 10名(石井・上原・加藤・加納・国分・末廣・田中(恭)・中兼・山影・若林)
(+業務担当:金子、深川、丸川)
(+本年度全国大会実行委員長:今岡)
5. 委任状提出者 9名
6. 出席者合計 19名
7. 議長 末廣理事長
8. 議事

(ア) 定刻に、末廣理事長が議長席に着き開会。まず、総務担当・丸川理事より本日の出席者は19名(委任状による表決者を含む)にて、定足数12名以上を満たしているので、本理事会は有効に成立している旨の報告があった。引き続き、本理事会の議事録署名人として、国分良成氏、丸川知雄氏の2名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後直ちに議案の審議に入った。

(イ) 前回常務理事会(2005年7月2日)議事録の確認を行った。

(ウ) 検討事項

1. 2005年度全国大会の準備状況について
全国大会実行委員長の今岡理事より、大会プログラムの暫定案が示され、内容の検討、また自由論題セッションの司会者決めについて審議が行われた。本日審議された事項を修正次第、大会プログラムをホームページに掲載予定である。
2. 2006年度全国大会および東日本、西日本大会について
末広理事長より、複数の候補校が挙げられ、開催可能性、時期等についての検討が行われた。
3. 『アジア研究』の編集状況について
編集担当の金子理事より、第51巻第4号の目次案の報告および説明が行われた。また同理事より、来年4月刊行分において、2005年度全国大会の特集を組む予定であるとの案が示され、特集の内容について検討が行われた。
4. 「アジア政経学会優秀論文賞」の選考状況について
選考委員長の上原理事より、本年度の優秀論文賞は、樹中毅会員の「レーニン主義か

らファシズムへ——蒋介石と独裁政治モデル」に決定したとの報告、およびその推薦理由、選考経過についての説明が行われ、これを承認した。なお、賞の授与式は、本年度全国大会にて行われる予定である。

5. ニュースレターについて

広報担当の若林理事より、ニュースレター第24号は、9月第3週中に発行予定であること、また、この号が若林理事担当の最後の号となり、以降の広報担当業務は、山本信人会員に引き継がれることが報告された。

6. 入・退会者について

下記の通り新入会希望者10名、再入会希望者1名が報告され承認された。また、退会者4名が承認された。また、アジア政経学会会員規則第7条に基づき、2003年度以降会費を払っておらず、学会からの連絡もつかなくなっている44名について退会扱いとすることが承認された。なお事務局から提出したリストのうち数名については、理事からの指摘により、再度連絡を試みることにし、退会扱いにはしなかった。

新入会

達古拉（ダグラ）（新潟大学自然科学研究科院生）
木南莉莉（新潟大学農学部）
張紹鐸（島根県立大学北東アジア研究科院生）
廣瀬陽子（東京外国語大学大学院地域文化研究科）
近藤久洋（東京国際大学国際関係学部）
伊藤未帆（東京大学大学院総合文化研究科院生）
浜崎悟（中央大学大学院法学研究科院生）
任哲（早稲田大学アジア太平洋研究科院生）
佐藤奈穂（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科院生）
趙秀梅（法政大学・日本学術振興会外国人特別研究員）

再入会

別枝行夫（島根県立大学総合政策学部）

退会

木村哲三郎
大熊武行
嘉数啓
佐藤正哲

アジア政経学会会員規則第7条に基づく退会 *

飯田 康久

于 文生

于 逢春

胡 景耀

吳 万虹

吳 仁正

王 淑珍

賈 宝波

川畑 康治

黄 昭堂

小島 謙介

小林 哲夫

小林 真生

蔡 建国

周 智民

章 政

秦 花秀

鈴木 裕子

井 西立

宋 仁守

田幸 大輔

田中 定仁

田原 洋樹

崔 宗煥

張 開めい

張 毅

陳 捷

田 麗萍

藤堂 史明

中村 一基

西野 肇

信夫 隆司

藤家 雅子

馬 佳

松田 浩敬

宮崎裕一

孟 建軍

孟 芳

余 勝祥

ラウール・ケネディ

盧 群

陳 淑玲

梁 京姫

Adhikary, Bardi Nath

7. 会員規則の一部改正の提案について

総務担当の丸川理事より、これまで会員規則に記載の無かった「役員の在任年齢に関する規定」を、規則上に追加することについての提案があり、これを承認した。

8. その他報告事項

①末廣理事長および丸川理事より、評議員選挙の経過報告が行われ、これに伴い臨時理事会が10月1日（土）16:00～17:00に開催されることが決定した。

②加藤理事より、同一人物による論文の二重投稿、また、一人が同一内容で、複数の学会において発表を行うケースが目立つようになり、問題になっている旨の報告が行われ、当学会における対応方法についての提案があった。

末廣議長が午後5時、閉会を宣言して審議を終了した。

以上の決議を明確にするために、議長及び議事録署名人は次の通り署名、押印する。

平成17年9月10日

財団法人アジア政経学会

議長

末廣 昭



議事録署名人

田代 良成



議事録署名人

丸川知雄

